

MAENAN SAH Journal Vol.53 Jul 25th, 2024



～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

★県庁 32 階『NETSUGEN』にて『SAH Ignite』開催！★



『自ら考え、行動できる生徒』の育成を目指した県教委のSAH事業に関連して、他県の先進的な取り組みを学ぶ講座が7/9火、県庁32階の『NETSUGEN』で開催されました！『自主性の育成』に力を入れる長崎東高校の立木貴文校長を群馬県に招聘し、ご講演をいただき、また、SAH指定校の前南より高田先生、高女からはSAH統括室長の中村先生を交えたパネルディスカッションを行い、『生徒の主体的な学びにつながる教育』について理解を深めました。

最初の講演では、立木校長から長崎東高の教育をご紹介いただき、『ジェンダーに関係なく着られる新しい制服選び』に生徒が参画し、新制服の発表会を生徒主体で開催したこと、授業や部活を行わず生徒が自分でやることを決める『チャレンジデー』を設けたことなどを紹介いただきました。『学校ができることは場の提供。生徒の主体性の向上の鍵は、どれだけ生徒を手放せるかだ』とのお言葉が印象的でした。その後、立木校長と本校の高田慧（あきら）先生、高女の中村理恵先生が意見を交換し、高田先生からは、生徒の提案でアイスクリームの自動販売機が設置されたり、スキー教室が開催されたり、また、ご自身が携わっている『身だしなみセルフチェック』などの生徒の主体的な活動についてご報告いただきました！

このイベントの名称である『Ignite（イグナイト）』ですが、『他動詞』としては『～に火をつける』『（人の感情）を燃え上がらす』という意味があります。前南の校舎の中にも『前南バージョンのIgniteポスター』を掲示させていただきました！みんなのハートに火をつけ、今後もさらに前南を元気あふれる学校にしていきたいと思います！（文責：教頭 星野 亨）

前南の取組については群馬県のSAH事業が県外にも認知される機会をいただけたことは非常にありがたいことだと思います。今回、名称や取り組み方の違いはあれども、他県でも非認知能力育成の重要性を感じていることが分かり、私たちの取組が間違っていないことを再確認できました。今年度は外部に向けて話をする機会を多くいただきますが、その度に前南生の取組がいかに素晴らしいものか実感でき、前南生ってすごいなと誇らしい気持ちでいっぱいになります。前南の時代が来てます！（登壇者：高田 慧）

★校長より★ 長崎県は「イノベーションハイスクール」として、生徒の意欲や主体性を引き出し、学びや学校行事をイノベート（革新）し続ける高校を目指し、長崎東高校をはじめ4校の高校を指定しています。遠く離れた地で、エージェンシーと同じものを目指す高校があるのは心強くもあり、少し不思議な感じもします。現在、日本のあちこちの高校でエージェンシーの火がつき始めているのかもしれない。高校時代にエージェンシーのマインドを身につけた人たちが、将来、社会のリーダーとして活躍している姿を想像すると、とても楽しみです。この、夏休み、皆さんもエージェンシーを育むための一環として、「主体的な学び」や「主体的な工夫」等に挑戦してみてください。

校長 原 拓史